

フェスティバル FUKUSHIMA!2017

震災の年に始まり今年7回目を迎える福島でのフェスティバル。

盆踊りを中心に今年も福島で開催！

大友良英、和合亮一、長見順、おおたか静流、テニスコーチらが出演

東日本大震災を機に、ネガティブな地として世界に知られてしまった“FUKUSHIMA”を、文化の力でポジティブに転換していくことを目的に、大友良英、遠藤ミチロウ、和合亮一ら福島にゆかりの音楽家、詩人、美術家らによって活動を開始したプロジェクト FUKUSHIMA!による、夏恒例のフェスティバルが今年も開催！ 2011年から毎年8月15日に開催し、今年7回目を迎えるフェスティバル FUKUSHIMA!は、福島市・街なか広場を会場に恒例のオリジナルの盆踊りを展開します。会場を彩るのはプロジェクト FUKUSHIMA!の象徴ともいえる、カラフルな巨大パッチワーク布「福島大風呂敷」。「ええじゃないか音頭」などオリジナル音頭のほか「新生相馬盆唄」など新しいアレンジの伝統盆踊りも登場します。すべてビッグバンドの生演奏です。

7回目となる今年は、当初の代表である大友良英、和合亮一らを迎えながら、NHK Eテレ「にほんごであそぼ」などでもおなじみのボイスアーティスト・おおたか静流や、テニスコーチらも初参加。子どもから大人まで参加できるワークショップや、朗読ライブパフォーマンス、DJ 盆踊りなども交えた、参加型のフェスティバルです。



フェスティバル FUKUSHIMA!2016 より

photo: Shizune Shiigi



FUKUSHIMA!

■フェスティバル FUKUSHIMA!2017 開催概要

タイトル： フェスティバル FUKUSHIMA!2017

～フロシキ広げて盆踊り♪～

■日時： 2017年8月15日（火） 15時～20時

（盆踊りは17時からを予定）

■会場： 福島市・街なか広場

（福島市本町 17-1・JR 福島駅より徒歩 5 分）

■参加無料

◎出演アーティスト：

大友良英、和合亮一、長見順、岡地曙裕、珍しいキノコ舞踊団、おおたか静流、テニス Courts、DJ フクタク、近藤達郎、張紅陽、しりあがり寿、小林エリカ、池永正二（あらかじめ決められた恋人たちへ）、大風呂敷スペシャルビッグバンド、オーケストラ FUKUSHIMA! ほか



◎総合ディレクション： 山岸清之進（プロジェクト FUKUSHIMA!代表）

◎会場アートディレクション： プロジェクト FUKUSHIMA!美術部（やぐらデザイン：アサノコウタ／会場装飾ディレクション：小池晶子／展示ディレクション：中崎透）

◎メインビジュアル・イラスト：小林エリカ／デザイン：田部井美奈

主催： プロジェクト FUKUSHIMA!

協力： 福島駅前通り商店街振興組合、福島市本町商店街振興組合、並木通り商店街振興組合、置賜町スズラン通商店街協同組合、本町親交会、福島クダラナ庄助祭り実行委員会

後援： 福島県、福島市、福島市商工会議所、福島市商店街連合会、福島民報新聞社、福島民友新聞社、朝日新聞社福島総局、毎日新聞社福島支局、読売新聞社東京本社福島支局、産経新聞社福島支局、NHK 福島放送局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ 福島放送、テレビユー福島、エフエム福島

特別協力： 株式会社三陽商会、株式会社サンヨー・インダストリー、株式会社いげた、サンチェ・イゲタ、DOMMUNE、（有）ビジュアル アンド エコー・ジャパン、イダテン、旅館清山、福島県移動販売業協同組合、名入りのぼり旗ご協賛の皆様

助成： 損保ジャパン日本興亜「SOMPO アート・ファンド」（企業メセナ協議会 2021 Arts Fund）

福島県ふるさと・きずな再生支援事業

P R O J E C T
FUKUSHIMA!

広報お問い合わせ

プロジェクト FUKUSHIMA! 福島事務局
住所：福島県福島市陣場町5-3 0いげた陣馬マンション202 (2017年6月に移転)
Tel：024-573-8385 / FAX 024-573-8386
Mail：profukushima@gmail.com ウェブサイト：<http://www.pj-fukushima.jp>

■プロジェクト FUKUSHIMA! について



FUKUSHIMA!

プロジェクト FUKUSHIMA!は、東日本大震災と原子力発電所の事故を受け、大友良英、遠藤ミチロウ、和合亮一ら福島出身／在住の音楽家と詩人を中心とした表現者たちによって立ち上げられました。

2011年8月15日には「未来はわたしたちの手で」をスローガンに、福島市四季の里にて最初の「フェスティバル FUKUSHIMA!」を開催。以降毎年8月15日にフェスティバルを開催している。2013年からは盆踊りを取り入れ、「納涼！盆踊り」として毎年福島市・街なか広場にてフェスティバル FUKUSHIMA!を開催するほか、あいちトリエンナーレ 2013、札幌国際芸術祭 2014・2017、フェスティバル／トーキョー (2014～16) などのアートフェスティバルや、多治見の商店街、東京・天王洲の海洋大学キャンパスなど各地でも盆踊りを開催するなど、精力的に活動している。2015年からは、設立当初からのメンバーである山岸清之進（ディレクター／プロデューサー・福島市出身）が代表を引継ぎ活動を継続する。

■同日開催！DOMMUNE FUKUSHIMA!



プロジェクト FUKUSHIMA! 独自のメディア、DOMMUNE FUKUSHIMA!。福島県の現状を、福島県から世界に発信する独自のメディアとして2011年5月8日に開設。アーティスト/デザイナーの宇川直宏氏が主宰し、世界でも圧倒的な人気と視聴者数を誇る東京発のライブストリーミングチャンネル「DOMMUNE」が、福島県内の有志のスタッフと共に配信する、福島発のライブストリーミングプログラム。独自の視点で福島の現状を世界に配信している。不定期な配信ながらも、この先数年単位の長いプロジェクトとして継続中。今年度は、三春町を拠点に活動する写真家・岩根愛をホストに番組を展開する。

▽<http://www.dommune.com>

■「福島大風呂敷」について



色とりどり、大きさや模様もさまざまな布が縫い合わされた巨大なパッチワーク、「福島大風呂敷」。プロジェクト **FUKUSHIMA!**のビジュアル的なアイコンとして、さまざまな場面で広げられています。皆で持ち寄ったミシンが並ぶ「風呂敷工場」には、活動に共感してくれたみなさんが全国から布を送ってくださり、世代や職業、立場の異なるボランティアメンバーが集まって大風呂敷を縫い合わせています。

きっかけとなったのは、2011年、福島市 四季の里で開催したフェスティバル会場の放射線対策でした。協力してくれた科学者のアドバイスから、表面被曝や放射性物質の拡散を少しでも防ごうとする意思を表しながら、見た目にも美しいものを、と、美術家の中崎透、建築家のアサノコウタラを中心に、6000㎡にもなる面積を覆える大風呂敷が、たくさんの人の手で作り上げました。

「大風呂敷を広げる」というと、少しネガティブに聞こえるかもしれませんが、しかし、「原発事故で世界に知られた福島を文化の力でポジティブに転換していく」という途方もない目標は、まさに大風呂敷を広げていると言えるかもしれません。いつかこの大きな風呂敷に包まれるにふさわしいものを私たちのプロジェクトが作り上げられないか。そんな願いもこめて「福島大風呂敷」が作られています。

さらに、大風呂敷は福島のみならず札幌・東京・名古屋など各地に広がっています。今年開催される札幌国際芸術祭の中でも大きくとりあげられ、札幌各地に大風呂敷がひろがります。

■出演者プロフィール

□大友良英（おおともよしひで）

音楽家。1959年、神奈川県横浜市生まれ。実験的な音楽からジャズやポップスの領域までその作風は多種多様、その活動は海外でも大きな注目を集める。また映画やテレビの劇伴作家としても数多くのキャリアを有する。近年は「アンサンブルズ」の名のもと、さまざまな人たちとのコラボレーションを軸に展示作品や特殊形態のコンサートを手がけると同時に、一般参加型のプロジェクトにも力を入れている。東日本大震災後は十代を過ごした福島でプロジェクトを立ち上げ、現在もさまざまな活動を継続中。2012年には、「プロジェクト FUKUSHIMA!」の活動で芸術選奨文部科学大臣賞芸術振興部門を受賞。2013年、「あまちゃん」の音楽でレコード大賞作曲賞



ほか数多くの賞を受賞している。2014年、独立行政法人国際交流基金アジアセンターとともに「アンサンブルズ・アジア」を立ち上げ、音楽を通じたアジアのネットワーク作りに奔走している。2017年札幌国際芸術祭ゲストディレクターも務める。今回のフェスティバル FUKUSHIMA!では、恒例のオーケストラ FUKUSHIMA!の指揮のほか、盆踊りの生演奏、大風呂敷スペシャルビッグバンドとしても出演。

<http://otomoyoshihide.com>

□長見順（ながみじゅん）

別名マダムギター、自作の唄を中心に唄いながらブルースみたいなギターを 下手くそだか上手いのだかよくわからない感じでやけくそに弾く高年齢の女。東京都出身、福島県福島市高湯温泉在住。一年の半分は雪景色見ながらマジメに生活、創作、ライブ、百姓しています。 <http://www.madamguitar.com/top/>



□岡地曙裕（おかちあきひろ）

ブルースドラマー

『吾妻光良&スィンギンバッパーズ』『ブレイクダウン』

『ボ・ガンボス』等のグループで活動。ボ・ディドリー、B.B キング等と共演、現在吾妻山中腹の高湯平在住。



□和合亮一（わごうりょういち）

詩人。中原中也賞、晩翠賞、みんゆう県民大賞、NHK東北文化賞などを受賞。東日本大震災の直後からツイッター上で連作詩『詩の礫』を発表し、オランダのコンセルヘボウホールなどにて朗読をするなど国内外から注目を集める。詩集やエッセイ集、絵本などを多数刊行。詩集はフランス、ドイツ、ブラジルなど多言語での翻訳が行われた。NHK復興サポーター。昨年秋に、シンガポール・ライターズ・フェスティバルにて日本代表に選出。2011年には共同代表としてプロジェクト FUKUSHIMA! の立ち上げに参画。



□珍しいキノコ舞踊団（めずらしいキノコぶようだん）

東京を拠点に活動を続けるダンスカンパニー。さまざまな空間で立ち上がるダンスを観客とともに体験し、それぞれの場所、それぞれの身体がもっているダンスを探り、楽しむことを主題としている。これまでに舞踊批評家協会新人賞、日本ダンスフォーラム大賞などを受賞。近年は舞踊団として「アセロラ体操」のCMや、「be ポンキッキーズ」（BS フジ）、「しまじろうのわお！」（テレビ東京）にも出演しお茶の間にも進出。



撮影：片岡陽太

□おおたか静流（おおたかしずる）

《シンガー&ボイスアーティスト》

七色の声を自由に操り、ダンス・絵画・朗読・映像等様々なジャンルの表現と共演している。「声のお絵描き教室」主宰。声の解放とバリアフリーを追求する。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」にて歌唱。

<http://sizzle-ohtaka.com>

撮影：Toshiya Suzuki



□テニスコート

1996年頃結成。さや(ヴォーカルほか)と植野隆司(ギターほか)によるバンド。国内外の多数のレーベルからの作品発表やツアー・ライブを重ね、さまざまなバンドやミュージシャンとのコラボレーションも多数。長年のキャリアがありながらも、いつも結成当初のような状態で、まったく型にはまらない温かくもクールな活動と演奏を続けている。<http://tenniscoats.blue/>



□池永正二 (いけながしょうじ)

音楽家。叙情派インストバンド“あらかじめ決められた恋人たちへ”のリーダー。鍵盤ハーモニカ・Track 担当。現在公開中の映画「武曲 MUKOKU」（監督:熊切 和嘉 x 主演:綾野 剛）や、「モヒカン故郷へ帰る」（監督:沖田修一）、「味園ユニバース」（監督:山下敦弘）の劇伴等、作曲・アレンジ・リミックス・プロデュース等も手掛けている。



“あら恋”の活動 20 周年を記念してリアレンジ・新録音のベスト盤「20th BEST」を4月にリリース。レコ発ライブイベント開催中。「焦点 feat.和合亮一」ライブ MV <https://youtu.be/84sKr1FbcQ4> | 20周年記念ベスト特設サイト http://arakajime.main.jp/best_20th

□DJ フクタケ

1990 年代より歌謡曲をクラブ・ミュージック・マナーでプレイする DJ スタイルで活動。“テクノ歌謡”のジャンル概念をいち早く提唱し、1999 年に CD『テクノ歌謡コレクション』シリーズを、選曲家チーム"8-bits"メンバーとしてコンパイル。現在は、東京を拠点に J-POP・和モノ系や 80's 洋楽系パーティを中心にプレイ。また、昭和のアニメ・特撮楽曲をレアグループ解釈でアナログ7インチ（ドーナツ盤）のみでプレイするスタイルにもこだわりを見せる。フェスティバル FUKUSHIMA!2016、フェスティバル FUKUSHIMA!@池袋西口公園（2016）にも参加している。※イラスト：渋谷直角



□しりあがり寿 (しりあがりことぶき)

1958年生まれ。多摩美術大学をへて、ビール会社勤務の傍ら作品を発表。94年退社。00年「時事おやじ2000」（アспект）と「ゆるゆるオヤジ」（文芸春秋）で文芸春秋漫画賞、01年「弥次喜多 in DEEP」（エンターブレイン）で手塚治虫文化賞優秀賞を受賞。11年、東日本大震災をテーマとした「あの日からの漫画」（エンターブレイン）など。02年から朝日新聞で「地球防衛家のヒトビト」を連載。公式サイト「ほーい！ さるやまハゲの助」は、<http://www.saruhage.com/>

□小林エリカ (こばやしえりか)

1978 年生まれ。作家・マンガ家。東京在住。著書、小説「マダム・キュリーと朝食を」（集英社）にて芥川・三島賞候補に。アンネ・フランクと実父の日記をめぐるノンフィクション『親愛なるキティーたちへ』（リトルモア）、作品集『忘れられないの』（青土社）他。その他の活動としては〈Project UNDARK〉としてアルバム『Radium Girls 2011』、〈kvina〉としてポストカードブック『Mi amas TOHOKU 東北が好き』（リトルモア）など。最新刊は「彼女は鏡の中を覗きこむ」（集英社）。

■2017 プロジェクト FUKUSHIMA!関連イベント

スクール FUKUSHIMA!2017

6月に新しくオープンするプロジェクト FUKUSHIMA!の新事務所兼オープンスペース「meetthings（ミシン）」にて、プロジェクトの柱のひとつであるスクール FUKUSHIMA!を7月以降定期的に開催します。まずは夏のフェスティバル FUKUSHIMA!に向けて「大風呂敷オープンラボ」として、大風呂敷制作のワークショップを毎週日曜に開催します。

そのほか、メンバーによる東京電力福島第一原子力発電所の視察報告会や、コワーキングスペースを生かしたまちづくりの事例を学ぶレクチャーなどを予定しています。内容は随時ウェブサイトで公開していきます。

猪苗代 オハラ☆ブレイク

8月4日（金）～6日（日） @猪苗代湖畔
プロジェクト FUKUSHIMA!大風呂敷

札幌国際芸術祭 2017

8月6日（日）～10月1日（日） JR札幌駅、モエレ沼公園、芸術の森公園ほか
市内各所で「大風呂敷プロジェクト」を展開
(8月4日（金）・5日（土）には4年連続になる「さっぽろ八月祭」の盆踊り開催)

いわき 平七夕祭り 盆フェス・白銀盆踊り

8月7日（月） @いわき市・いわき駅前タクシープール
伝統ある盆踊りの祭りに、いわき盆バンドで参加。

アンサンブルズ東京

10月15日（日） @東京タワー
大風呂敷を広げて開催される市民参加型音楽フェスティバル。今年3回目。

フェスティバル FUKUSHIMA! in TAJIMI 2017

10月28日（土） @岐阜県多治見市 ながせ商店街
多治見の駅前商店街で2014年に続いて2回目となる盆踊り。

ほか、随時発表していきます。